

		事業所管部局	国土交通省 都市・地域整備局 街路課
計画事業名	都市計画道路の整備 宮内新横兵線(中原)	事業担当局	建設局
事業採択年度	着手年度 H 4 年度	認可・承認等年度	H 4 年度
経過年数	10 年	該当条項	事業採択後 10 年間を経過
完了予定年度	H 1 6 年度	関連事業名	
事業の目的概要課題	事業目的 多核ネットワーク型の都市構造を支える都市軸交通幹線網の整備と共に、環境に配慮した質の高い生活空間を形成する。	事業採択時の背景及び契機 本路線は川崎市の中部地域を多摩川から JR 南武線武蔵新城駅付近を通り横兵市に至る幹線道路です。当該事業区間の狭益な道路を多くの車両が通行するため生活環境に支障が生じており、本路線の整備により地域の活性化、交通環境の改善を図るものです。	
	事業内容 箇所 中原区宮内, 上小田中地内 道路延長 L = 約 7 6 5 m 幅員 W = 2 2 m (道路新設) 都市計画延長 L = 4, 3 0 0 m 完成延長 L = 1, 6 6 4 m	事業採択(着工, 未着工)から基準年を経過している主な理由 本路線は現道がない住居地域であり、計画線上に住宅が建ち並んでおり、事業に伴う沿道住民の生活への影響が大きく、用地を取得するにあたり、交渉に多大な時間を要したことによるものです。	
	事業費規模(単位:百万円) (1) 事業費 8,215 (うち 国庫補助金 3,903 ) (2) 残事業費 1,086	現状の課題 用地取得率 9 4 % ( H 1 3 年 3 月 現在 )  事業用地取得にあたり地権者の協力を得るのに生活再建等も含め交渉に時間を要しましたが、話合いの土台が築き上げられつつあります。 事業の重要性を十分に認識し、早期解決に向け地権者との交渉を進めていく。	

評価の概要	本路線周辺は地域内を横断する幹線道路がなく、そのため地域内の狭益道路を多くの車両が通過し、生活環境に支障が生じております。また、地区生活拠点の新城地区にアクセスする道路でもあり、地域の活性化、交通の円滑化、歩行者安全の確保及び都市防災機能の向上のため早期に整備が必要な路線であります。
-------	--

再評価への考え方	本路線は川崎市の中部を横断し横兵市に至る、本市のラダー型交通体系を補完する幹線道路として位置づけられており、本区間の完成によりラダー構造の縦軸を成す尻手黒川線と国道 4 0 9 号が連続されることとなり、よりネットワーク化が図られることになるとともに、交通環境の改善、地域の活性化、都市防災機能の向上からも早期の整備が必要な路線です。また、用地取得率が約 9 4 % であり、引き続き早期整備を目指し事業を継続することが必要と考えられます。
----------	--

対応方針案	<p>対応方針案</p> <p><b>継続・中止・休止</b></p> <p>対応方針案の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通環境の改善, 防災上, 早期完成が望まれている。</li> <li>事業用地取得に時間を要したが、現在は 9 割以上の事業用地を取得している。</li> <li>本路線は、本市の交通体系を形成する路線として重要な位置づけになっている。</li> </ul> <p>以上の事から、事業を継続することが必要であると判断できる。</p> <p>なお、今後、事業を進めるにあたっては住民ニーズを十分に把握した対応をとるとともに、事業の重要性等をさらにアピールし、関係者の理解協力を得られるよう努力していく。</p>
-------	---